



Sponsor a Child

# クリスチャンパートナーズ

## 通信第 97 号

- 
- |   |                                   |
|---|-----------------------------------|
| ・発行日／2016年8月01日                               | ・発行所／クリスチャンパートナーズ                 |
| ・事務局／〒422-8053 静岡市駿河区西中原<br>2-7-63-111 竹澤三佳子方 | ・Tel/Fax 054-283-1721             |
| ・郵便振替口座／00150-0-134994                        | ・e-mail/sunflower818@hw.tnc.ne.jp |
|   | ・http://www2.wbs.ne.jp/~c-p/      |
- 

### アクラでの思い出

理事長 木ノ内 一雄

五年ほど前のことです。オランダのアムステルダムからガーナのアクラに向かう飛行機の中で、隣に座ったのは少し年配のふくよかな夫婦でした。離陸するとすぐに食事が運ばれてきました。なかなかの食事です。隣の二人はすぐにワインを注文しました。ところが彼らは客室乗務員が通るたびに、おかわりするのです。二人は騒ぐこともなく、静かで楽しそうです。それを見ながら私は、心の中で思っていました。こんなところでパーティーを開くなんて、それに乗務員も何回でも言われるままに持ってくるのは不思議だ、と。長い道中でした。ただ黙って座っているのも疲れます。そこで「毎晩、このようにパーティーをしているのですか」と尋ねました。彼らは少し恥ずかしそうな顔をして、「そんなことはありません」と言います。自分たちはガーナからイギリスに移民し、二、三年ごとに里帰りをしている、息子たちを皆大学に入れ、中にはコンピューター関係の仕事をしている子もいる、イギリスではいろいろと苦労したけれど報われた、今回は妹たちが飛行場まで迎えに来てくれる、などと話してくれました。

着陸の時間が近づいてきたので、何気なくメールを開けてみると、大変なことが起こっていました。行き違いがあって、迎えに来る人との確認が取れていない、大至急、到着日時を伝えるように、とありました。今更そんなメールを見ても手遅れです。隣の二人に話をすると、大丈夫だ、私たちがガーナでのあなたの身元引受人になると言います。税関を通る時も手荷物を受け取る時も、ずっと一緒に付き添ってくれ、もし迎えが来ていなければ自分たちがホテルまで送ると言います。彼らの誠実な人柄に心を打たれました。それとともに、機内で最初に座った時の自分の高い目線が思い出されました。

幸い、アメリカPI代表のルイス氏が到着口で待っていてくれました。夜中の1時頃でした。もし迎えが来ておらず、この二人がいなければ、私一人でどうなっていたことでしょうか。初めての者が飛行場で夜を明かすのは無理だったと思います。このことだけでなく、この旅では様々な出来事を通して、主が共にいてくださることを知らされました。

# インドネシアより SACプログラムを通しての宣教

2016年3月報告

主イエス・キリストの導きにより、この一年も無事に過ぎたことを感謝します。子どもたちに

手紙を二回書かせ、2015年のクリスマスカードを作らせるのは困難でしたが、期限に間に合わせることができ、そのために奉仕して下さった兄弟姉妹に感謝しております。それには、シンガポールとマレーシアの職員の協力もありました。私たちのSACプログラムを通じた宣教運動は前進しています。支援をいただいている子どもたちは、キリストにある友との交わりを得るばかりでなく、主イエスを自ら知ることになります。彼らはSACプログラムを通して教育を受けることにより、将来が明るくなります。SACの卒業生には上の学校まで進む子どももあり、家族の経済状態が改善します。



SAC卒業生には学んだ知識を用いて幼稚園や教会で奉仕する者もいます。また、教会の日曜学校で奉仕し、歌の指導などで働き、家族に好ましい影響を与えていて、親たちがだんだんキリストを知るようになっています。

SAC宣教は子どもとその家族に明るい希望を持たせます。子どもたちはクリスマスや誕生日に頂く贈り物で、支援して下さる方々の愛情を感じています。以前は誕生日を祝ったり、親から贈り物をもらったりすることはなかったからです。

支援者の皆様が、SACを通しての宣教の業に将来ともお祈りくださるようお願いいたします。このプログラムによって、多くの人々を主に導くことができます。この多角的な宣教運動へのお力添えを感謝し、皆様の日々の生活に主のお恵みがありますように祈ります。

アーメン

クリスマスの祝会に集まった子どもたち



奉仕する若い人たち

## インマヌエル・シンタン中学校から・・・

＝高橋宣教師を通して奨学生の自己紹介が届きました＝

校長ケジア・カルティカさんのご挨拶：

《高橋めぐみ宣教師を通して、インマヌエル・シンタン中学校全員から、日本にいらっしゃる支援者の皆様に、感謝の気持ちをお伝えしたいと思います。皆さまからのご支援とお心遣いは、恵まれない生徒たちのために、大変大きな力になります。

当校の生徒にとってご支援をいただくことは、大きな目標と勉学にいそしむ力を与えられることになるので、彼らが最高の結果で当校を卒業できることを期待します。

ここに、奨学金をいただいている生徒7人をご紹介します。これをもって、皆様のご支援とお心遣いへの感謝の言葉とさせていただきます。

神様のご祝福が、いつまでもありますように。

ケジア・カルティカ＊》

(カルティカ校長は、元奨学生で、2005年にタンジュンプラ大学を卒業されています)



私はユリアです。2003年7月生まれで、今7年生です。8人兄弟の7番目で、今7年生です。父は会社員、母は農業をしています。両親と離れて寮生活をしています。バレーボールが好きです。将来の夢は看護婦になることです。私のために学費をご支援くださり、心から感謝いたします。皆様の上に神様の祝福がりますように、お祈りしています。



私はララ・クリスティです。2001年11月生まれ。7年生です。7人兄弟の5番目です。父は会社員、母は農業をしています。伯父の家に下宿して学校に行っています。バレーボールが好きです。将来は教師になりたいと思っています。私のために学費をご支援くださり、心から感謝します。神様のお守りがありますように。



私はルキア・ヘラワティです。2002年2月生まれで、7年生です。兄弟2人で私は2番目です。父母は農業をしています。私は両親と離れて寮生活をしています。趣味は音楽です。将来の夢は牧師になることです。学資のご支援を心から感謝します。



私はヤニ・サバハです。2003年生まれ、7年生です。4人兄弟の3番目です。父は会社員、母は農業をしています。私は寮生活です。歌を歌うことが好きです。将来は教師になりたいと思っています。学資のご支援を心から感謝しています。



僕はアキトです。8年生。4人兄弟の1番上です。父親は亡くなりました。母親が農業をしています。家が遠いので、シンタンでは他の人と生活しています。趣味はバレーボールです。将来の夢は、軍隊に入りたいと思います。

学費の支援を心から感謝しています。皆様の上に神様のお守りが豊かにありますように。



僕はスバントです。2000年3月生まれで8年生です。5人兄弟の4番目です。両親は農業をしています。今は寮生活をしています。好きなのは音楽です。将来の夢は軍隊に入りたいです。僕のために学費を支援してくださり感謝します。神様の祝福がありますように。



僕はアルジュン・シバです。2000年8月生まれで、8年生です。4人兄弟の3番目です。バレーボールが好きです。両親は農業をしているので、僕は下宿生活です。学資の支援をありがとうございます。皆様の上に神様のお守りを祈ります。

\* \* \* \* \*

高橋先生のお手紙によると、ATI 神学校で7月から2年生になったドミアヌスは、日本からの奨学金（月6000円）を受け取っているのですが、非常に貧しい家庭の出身で、その上昨年父親を亡くし、日々の必要にも困窮しているので、クリスチャン パートナーズからの大学生対象の奨学金から、1000円を追加支給しているとのことでした。



〔ドミアヌスの感謝の言葉〕

主のみ名を賛美します。

皆様のご支援のお蔭で、私は2年に進学することができました。恵まれていない私は、親の力だけでは学校に行けませんが、お祈りによって皆様の援助をいただいて、最後まで学ぶ機会が与えられ感謝しています。私に今できることは、皆様の上に神様のお守りがいつも変わらずありますように祈ることだけです。

尊敬と共に ドミアヌス

~~~~~  
 【理事会報告】第191回理事会は2016年5月9日（月）一ツ橋学会館で開催。2016年03, 04月度会計報告承認。SAC里子については、現地教団の自立志向で海外からの支援を縮小する希望があるので追加せず、今年度中の支援里子数は25名とする。里子が退会した支援者には、他のプログラムの支援をお願いする。第192回理事会（2016年第1回）は2016年7月11日（月）一ツ橋学会館で開催。2016年05, 06月会計報告承認。2015年度会計報告を奈須監事監査後承認。2016年度予算を会計理事が提示、高橋宣教師経由の奏楽金を50万円に追加・変更して承認。「通信」第97号の内容はインマヌエル中学校生徒と神学生の挨拶で、7月末か8月初めに発行予定。第98号は、ガーナからの年次報告を中心に編集予定。第193回理事会は2016年9月12日（月）一ツ橋学会館で開催予定。

~~~~~  
 〈編集後記〉2015年度の会計は、支援者の皆様のご協力により、無事に終了いたしました。奨学金のご依頼に応じて、それぞれお送りすることができ、理事一同心から感謝しております。日本経済も世界情勢も先が見通せない状態ですが、7月から始まる新年度も、ご支援の継続をよろしくお願いいたします。

暑さの中、皆様の健康が守られますよう祈ります。 鳥海百合子